ゆう・ゆう

社会福祉法人 育 成 会
いわき市常磐下船尾町東作51
TEL（0246）43−4466
FAX（0246）43−0056
発行責任者
理事長 髙 村 トミ子

育成会ホームページQR
https://www.ikuseikai.com/

コロナ禍でも学びを止めるな！

令和2年度 社会福祉法人育成会講演会

2020.12.18

藤井克徳氏による「障害者権利条約パラレルレポートにみる日本の課題」

開催される！

（関連記事は2面に掲載）

社会福祉法人育成会 講 演 会

令和二年十二月十八日にスパリゾートハワイアンズ・コンベンションホールにて毎年恒例の講演会を開催しました。

コロナ禍での開催には躊躇もありましたが、どんな状況下でも学びの場を絶やさないことと、万全に近い感染防止体制で臨むことを熟慮して、定員七百名のコンベンションホールに百四十名の参加者、マスク着用と一切の飲食禁止、検温や随所に置かれた手指消毒の励行など可能な限りの対策を講じて開催しました。

全盲という視覚障害がありながらも、様々な要職に就かれ、年間を通してご多忙な藤井克徳様に講演会の日程を組んでいただいたのは昨年の十月でした。

ご講演内容は、日本障害フォーラム（ＪＤＦ）の副代表として取り組まれた「障害者権利条約」に関する報告書（パラレルレポート）から見える課題を中心に、藤井様自らドイツの現地を訪れＮＨＫ番組で解説と検証を行ったナチスドイツの障害者大量虐殺Ｔ４作戦や、津久井やまゆり園での刺殺事件から見える「優生思想」などに関して、熱い思いを穏やかな口調でご教示いただきました。

遠路、いわきの地に足をお運び頂いた藤井様に、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

苦情解決委員会から「思いつなげる委員会」に

当法人では、苦情や要望の申し出に対し、その解決や実現を図るために、これまで「苦情解決委員会」の名称で組織化を図ってきましたが、本来のこの委員会の目的は、苦情に至る前の要望や希望などのニーズを丁寧にくみ取ることが重要であり、サービス利用満足度の向上や人権擁護の取り組みを推進することです。法人としてこの目的意識を強く持つために、苦情に代わる言葉を「思い」として、「思いつなげる委員会」に名称を変更いたしました。

名称変更による利用される方や職員の意識の変革は、当法人の支援コンセプトである意思決定支援に合致した体制作りであり、障がい者支援の根底に帰するものと考えます。

尚、「思いつなげる委員会」の通称はこれまで同様「かけはし」とし、組織は、各サービス事業所に置く受付担当者及び解決・実現担当者と第三者委員にて構成し、各事業所職員全てが日々のサービス提供における小さな達成を積み重ね、「思い」の実現に向けて取り組む体制に変更はありません。

今回の変更が単に名称変更にとどまらず本来の目的を達成できるよう努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

いわき育成園 大規模増改築事業 竣工の御礼

障害者支援施設（入所施設）であるいわき育成園は開所から三十五年近く経過し、生活の質を高めるための施設整備は念願でした。この度国庫補助を受け実施した標記事業について、令和二年十一月末をもって竣工致しましたことをご報告するとともに、皆様のご協力に対し厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

新しい育成園と利用されている方の暮らしについては次号に掲載予定です。

令和二年度 社会福祉功労者厚生労働大臣表彰

社会福祉事業の発展向上に顕著な功績がある者とした標記表彰に、三名の職員が栄誉に授かりました。

佐藤みさ江　いわき学園　管理者
櫛田　守幸　いわき希望の園　管理者
鈴木　よて　いわき育成園　看護課長

佐藤みさ江

櫛田　守幸

鈴木　よて

本人活動第二回
合同役員会「WEB会議」

各事業所利用者自治会の合同役員会は、十一月六日にWEB会議で開催されました。今回の議題は「エコキャップ納品」「勉強会報告」について。パソコンやiPadを使用し、五つの事業所から各二~三人の役員さんとサポート役の職員が参加しての会議となりました。

対面ではない会議で自分の意思を伝えるために、あらかじめ「賛成・反対」のフリップボードを用意したり、伝えたい事を写真や文字で判りやすく提示したりする他に、マイクを通してことばで参加者に伝えました。

WEB会議も六月に続き二回目となり、役員の皆さんは緊張することなく楽しく会議が進行し、その様子からIT時代の環境にしっかり順応していると感じられ、今後はコロナ禍が落ち着いてからも、対面での会議とWEBでの会議が、目的によって使い分けられることがスタンダードになるであろうと感じられました。

利用者自治会「勉強会」

各事業所の利用者自治会では、共通の目標を定め、協力して活動を行っています。「エコキャップ活動」「地域の清掃活動」「手をつなぐ育成会本人大会への参加」など活動は多彩ですが、その中の一つ、各事業所自治会ごとに希望を聴き行われている（予定含む）「勉強会」を紹介します。

例えば

「選挙」について（みなみテラス）
・実際に使用される投票箱や投票台を借用し模擬選挙を行う。コロナ禍の選挙でこれまでと異なる点やマナーを学ぶ。

「お金の使い方」について（いわき光成園）
・基本的なお金の仕組みや使い方を学ぶとともに、模擬商店での買い物体験を行う。

「お部屋での過ごし方」について（いわき育成園）
・増改築された新しい自分の部屋（一人部屋）を暮らしやすい部屋にする方法を考える。

「新型コロナウイルス予防」については、各事業所で特色ある学習会を行っています。
・手洗い動画の視聴や感染症○×クイズ
・ベープサート（紙人形劇）
・小グループで予防についての話し合い

各事業所とも利用する方の「知りたい」に応えられるよう工夫して実施しています。詳しくは育成会ホームページをご覧ください。

見学ツアーinいくせいかい

十月十七日、十一月二十八日に、見学ツアーを開催しました。二日間で総勢二十四名の学生の皆さんが参加してくれました。

例年は、昼食をはさんでのスケジュールで、育成会を堪能していただいていましたが、今回はコロナウイルス感染予防のため、『「食房みらい」の焼き立てパンのお土産付き見学ツアー』という形で、半日の開催としました。いわき学園、いわき光成園、グループホームの見学をしていただき、最後に法人の概要説明とディスカッションを行いました。各事業所の見学は、利用者の皆さんとの距離を十分配慮して、活動や仕事の様子をご覧いただき、ディスカッションでは、福祉とは何か?という点や、利用者自治会の活動、意思決定支援についてなど、育成会の取り組みを紹介した後で、学生さんからの様々な質問に答えました。

帰路の表情から、学生さんにとって、充実した時間を過ごすことができたように感じました。

お楽しみ屋台村

いわき学園　11月2日

グループごとに、チケットでカレーやうどん、デザート等を美味しく食べました。のびのび館の販売コーナーではお買い物を楽しみました。皆さん笑顔で参加されていました。

日帰り旅行で地元再発見

いわき育成園　10月27日・11月10日・30日

今年度は5つのグループに分かれて日帰り外出を満喫しました。遠方の旅行はできませんが、市内でバーベキューや温泉を楽しみ、皆さん笑顔です。

祭りだョ！全員集合！

いわき光成園　11月2日

玄関を一歩入るとお祭りムード満載。御神輿、顔出しパネル、射的、くじ引き、輪投げ、アヒルつり。お祭り気分を満喫され、皆さん笑顔でした。YouTube、HPにてご覧ください。

ハロウィンを楽しもう！

いわき希望の園　10月29日

室内の装飾はハロウィン一色。皆さん映画鑑賞や抽選会、美味しい食事を楽しみ、季節の行事を堪能できた一日でした。

iPad導入完了

ゆうゆう・風雅　11月5日

万が一、コロナウイルスやインフルエンザなどに感染した場合でも、保護者の皆様とオンライン面会できる環境が整い、緊急時には、動画を見ながらの情報共有が可能となりました。

伝統の遠野和紙で紙漉体験

みなみテラス　10月30日

遠野和紙工房学舎さんを訪問して400年の伝統に触れてきました。国産の楮（こうぞ）とトロロアオイを使った手漉き和紙でポストカードづくりを体験してきました。

いわき希望の園 壁面10月

編集後記

コロナ禍の1年が過ぎようとしています。利用される方やご家族、法人事業所共に大変な時間を過ごしてきました。来年は今年より笑顔いっぱいになりますように。
皆様　よいお年をお迎えください。